

当院において眼科の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「光干渉断層計による眼科治療の研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学 眼科 森實 祐基

1) 研究の背景および目的

光干渉断層計 (Optical coherence tomography, 以下 OCT) は生きた人の眼の10層構造をなす網膜の断面画像を、人体へ与える影響が最大限に少ない条件で素早く撮影をすることができる機器です。OCTは眼科において必要不可欠の検査となっており、昨今、OCT機器の進化に伴い、網膜に限らず眼の様々な部位の構造が観察可能となりました。また、OCTの解析手法も進歩しました。眼球は球状の構造をしているため、網膜は弯曲をしています。しかし、この弯曲を平坦化することで、網膜や脈絡膜を走行する多くの血管の様子を詳細に観察することができます。平坦化画像である「En face OCT画像」を構築する方法、血管内の赤血球の信号を基に血管を可視化する「OCT angiography画像」を構築する方法があります。

この新しい解析手法を使って、網膜疾患、緑内障、斜視、視神経疾患患者さんを対象にOCT撮影を行い、点眼、注射、レーザー、手術等の治療前後での治療反応性や有効性を検証します。

2) 研究対象者

岡山大学病院眼科において網膜疾患・緑内障・斜視・視神経疾患に対して治療を受けられた方300名を研究対象とします。

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月31日

4) 研究方法

当院において点眼、注射、レーザー、手術による治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、視力や眼球の形態に関する分析を行い、治療によりどのような経過をたどるかについて調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、原因疾患名、治療回数、視力経過、画像検査結果など

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院眼科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 眼科

氏名：木村 修平

電話：（平日 9時00分～17時）：086-235-7297

（土日祝日夜間）：086-235-6708